

第12回網走市選択する未来会議発言要旨（令和3年10月21日（木））

～第2期網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成状況について、資料に基づき事務局より説明～

●議長

事務局から説明がございましたが、委員・オブザーバーの皆様のおかげから、ご意見・ご質問等があれば挙手いただきたいと思いますが、何かございませんか。

順番に委員の皆さんにお聞きしたいと思います。

何かございますか。

○委員

もち麦については、行政や業者との認識のずれなどもありなかなか進まない状況となっております。雨や干ばつの影響で栽培もうまくいっていない状況となっており、考えてやっていたかなければならない。

また、出生率が低くなっているのが気になります。

最近不妊の方が増えている印象で、治療が高額なため経済的に厳しくなり、治療を断念する人もいると聞いている。何か支援できるものはないですか。

●事務局

出生率が低くなっていることについて、様々な要因が絡んでおりますので、これが原因とお示しするのは大変難しい指標でございますが、これまでも行っております不妊治療への助成、支援の他、産み育てやすい環境作りに引き続き力を入れて進めてまいりたいと考えてございます。

●事務局

出生率につきましては、全国的に見ないとなかなか測れないもので、網走の人口だと分母が少ないものですから、子供を産む年齢層の人口形態が変わっていくと、それでも影響があるのが事実です。今ご指摘いただいた不妊治療の助成はしていますが、金額の条件だとか、回数の制限、そういったものもあると思いますので、今お話いただいたことは、この後、担当課に伝えまして、例えば制限を上げることができるのか、さらに補助件数を増やすことができるのか、市の内部でも検討させていただきたいと思います。

○委員

1点目は、もち麦について。

夫がカフェを経営しており、お客様からの評判も良い。

難しい事情もあるかと思いますが、何とかのこしてもらいたい。

2点目、3ページのスポーツについて。

オンラインで行われたオホーツク網走マラソンは、FM網走の新しい試みが大変成功を納めランネットでの評価も高かったです。

網走市の取り組みの新規性を評価された意見が大変多かったので、数値に表れない、活動

について評価できる場所があれば、マラソンだけでなく各方面で工夫されたことを評価できたいと思いますので、その辺をご提示いただければと思います。

3点目、子育て支援について。

私のところで児童センターを立ち上げて3年目、印象として支援が必要な子が多くいます。保育園も同様で、加配しなければいけない子が増えているようです。支援の体制は、色々していただいています、追いついてない印象ですので、充実を図っていただきたいと思えます。

●事務局

お話いただいた通り、コロナの中で非常に大きな成果を上げていると思えます。

ただ総合戦略については、先に指標を決めているので書くところがないということで、これについては次回から、コロナの中で様々な取り組みがありますので、そういう評価があるとか、ランナーの意見だとかを載せるようなことを、検討させていただきたいと思えます。

もう1点、保育園、児童センター、幼稚園、認定こども園もですが、その障害の定義が子どもは難しいですが、現場では、子供の相対が減るのに支援が必要な子が増えている実感があるのかと思えます。

市では発達支援センター「ふわり」に言語聴覚士を2名配置して、より専門的にと考えていますが、今のお話は通常の保育の中で手がかかる方がいて、運営に色々な課題があるということかと思えます。

○委員

「ふわり」も人数的にケアできる限界に達している印象があるので、十分な体制ではない印象です。

●事務局

今のお話は、受けとめさせていただきまして、子供の相対数が減っているが支援が必要な子が増えている傾向があるということで、どうケアしていけるか、増員を図れるか含めて子育て支援課と議論させていただきまして、意を用いて取り組んでまいりたいと思えます。

○委員

学生の視点からみて気になったのが、地元に着する人材の確保、農大卒業生の市内就職者数です。5年間で30人、令和2年度の時点で6人、このまま進めれば、目標値が達成できると思えますが、就職となると大学では、キャリアセンターだとかが担当になりますが、ここで市の方々と農友会総務部と一緒に学生をサポートできるようなことが提案できたらと思えます。

○委員

1つ目は、子供のインフルエンザ予防接種率で、接種は任意だと思えますが、接種しない理由をつかんでいるのかと、市として積極的に接種を促していくのかということところです。

次に、子育てがしやすいと感じる割合で、未実施、5年ごとのためとありますが、人口減少や、出生率は、刻一刻と変わっており、対策も常に打たないとマイナスしていくと思うので、本来であれば毎年測定するべきだと感じます。

最後に、中心市街地と網走川周辺の賑い創出、観光の入り込み客数、公共交通の部分、それ以外の KPI も共通していますが、目標値設定の根拠が見ないところがありまして、例えば中心市街地の歩行者数であれば、平日に 3,000 人、休日 2,000 人歩いてどうなるのか、歩かせることが目標ではなく、歩いた結果、どうまちが発展するか重要だと思います。

これだけ歩くと、これぐらいの経済効果があるのと結びつかないと、目標設定する意味が無いというのが民間企業の考え方ですので、今後、検討していく必要があると思います。

●事務局

インフルエンザにつきましては、ワクチンの接種をいただいて、子供たちの学級閉鎖、学校閉鎖などを防ぎたいということです。積極的に接種いただきたいですが、最終的には本人判断ですので、どうして接種しないのかは、実際把握はしておりません。

2 目、アンケートが 5 年に 1 回では遅いというのはご指摘のとおりです。

来年度から大きな方向性として、デジタル化を如何にできるかがあります。

若い人には、Google を使った簡単なアンケートはできる体制がありますので、全庁的に、考えて即座にいろいろな意見を集めたいと考えています。

3 目ですが、おっしゃる通りです。目的は、にぎわいの創出、経済効果の拡大ですが、そうした資料は持ち合わせてないので、わかりやすく、測定もすぐできるのではということなのです。今のお話は全体的に広がる話ですので、例えば、中心市街地の歩行者だと、担当の観光商工部に伝達をして、アンケートの時に、例えば、通行人の方がどれぐらいお金を落としているのか、その辺を指標に考えながら、本当の意味の必要な指標を出せるように研究したいと思います。

○委員

マーケティングコンサルティングをいれるかどうかだと思います。

そこまでやるかどうかの問題だと。

●事務局

本来はそうあるべきだと思います。

○委員

9 ページの防災体制の強化ですが、自主防災組織率が 70%を超えていますが、災害が起きたときに、ボランティアセンター等立ち上げなければならないと思っています。

社協でも準備を進めていますが、先頭に立つのは市になると思うので現在の進み具合をお願いします。

●事務局

自主防災組織は名簿や連絡簿もあるけど実際は役員も代わって機能してないというのは市、社協さんも含めて、課題があるというのは共通認識です。

協議会を立ち上げて、今後どこから整理をしていくか、どうやって普及をしていくかというのは、これから検討に入るところだと思います。

まず、協議会作りしましたので、次は課題の整理に入っていく、今は、そういう状況と認識しています。

○委員

防災ラジオの普及率 59%と出ていますが、実際に使われているかが問題だと思います。

市で割り込み放送をしています。殆ど聞いていないのが大方の意見です。

実際に緊急事態が起きたときにどうするか考え直し、改めて周知をするなど、方法を検討していただきたいと思っています。

防災の組織率の問題ですが、市町連でも改めてアンケート調査をしています。

会長が変わったら知らないと、この辺りのチェックを理事さんをお願いをしています。連絡協議会も立ち上げていただきましたので、これに沿った形で活動していきたいと思っています。

次に町内会の組織率で、町内会を解散、役員のみ手がないなどで段々落ちているのが事実です。何とか解散しないように手を打っていますが難しい。新しく宅地造成された団地に新規の町内会を作っていただくことを市にお願いしているが、条例が無く、任意なので簡単ではないと。

ある団地にアンケートとったところ、役員をやりたくないから作らないと。

防犯灯の管理等も市から委託を受けていますので、事情を説明していますが、難しいのが現状なので、お知恵をいただければ大変ありがたいです。

●事務局

当然、市としても課題だという認識です。市や社協さんなども含めて一緒に考えてチャレンジしていく、改善はしなくても取り組んでいかなければならないという認識です。

防災ラジオも、そのままという家庭もあります。年齢層を制限していますから、亡くなって返ってくる数も増えています。

例えば、渡す対象を緩和する、実際使っているか聞き取りをするなど、そうしたことは大切です。

新しい町内会組織は、なかなか進まないということですから、公営住宅の問題も含めてすぐに解決は難しいと思いますが、市も一緒になって皆さんの力をお借りしながら進めていきたいと思っています。

○委員

2 ページ、新規創業ですが、基準値 40 社、実績が 6 社で目標値に対して下回っている。

去年あたりから新規創業数が減ってきている感覚を持っています。

新規創業の中で圧倒的に多いのが飲食業です。コロナ禍ということで、タイミングを含めこの時期にできないのでこの数字になっていると思います。

目的は就労の確保だとおもいますが、今の段階だと、新規創業よりも、現状の企業を守ること、事業承継も含めて、そこが金融機関の一番のお手伝いのポイントになっていると思います。大変厳しい数字ですが、意欲を持っている方もいると思いますし、タイミングを計って新規創業に向けて金融機関もお手伝いをしていきたいと思っています。

○委員

新型コロナウイルス感染症の収束が見えないことがすべて。

収束が一つのかたちになると令和 6 年度の数値も変わってくるだろうと思います。

アフターコロナにおける企業をいかにして守るか、金融機関の力を借りていかなければな

らないと思います。

○オブザーバー

5 ページの出会いの場の創出です。

街コンなどは、税金でするものかと思われがちですが、経済効果でも、5年間で20組という目標値の経済効果はすごいと思います。

20組結婚したとして、子供が生まれたと考えたら、すごいと思います。

あと、クラス会みたいなのが、今やらなくなっている。

きっかけとして若い人が集まるクラス会みたいなものをプロが設定するとうまくいくと聞いています。是非、コロナが収まっているときにお願いしたいと思います。

○オブザーバー

2 ページの若者の就労促進です。

基準値 61.43%に対し実績値 50%で 10%以上低下しているのはかなり厳しい状況だと思えます。お客様を回っていると、やはり人材不足というのが非常に大きな課題で、母数がこれだけ減っていると相当な地域の地盤沈下が進んでしまうと思っています。

ここを目に見える形で、お金を使ってでも大きな施策をうっていきべきだと思います。

私は7月から網走に参りました。

住んでみるとなんでもありますし、医療機関も整っている。

過ごしやすい街だと思っており、とても働きやすい環境だと思っています。

今道内でも特に函館はワーケーション、テレワークなどの環境整えていくまちづくりをしています。今回の戦略には、そういったところ盛り込まれていないと思います。

ワーケーション、テレワークはポテンシャルの高い街だと思っておりますので、空き店舗なんかを使いながら、色々な施策を打っていただくと、違った展開があると思います。

●議長

委員の皆様ご意見ありがとうございました。

本日の会議は以上で終了させていただきます。

(以上)